

たより

門松と飾り風づくり

年末恒例の門松づくりを、リバースの皆さんが15日(日)午前中に行い川合まちづくりセンター玄関に設置しました。川合保育園の、飾り風もつくりました。30有年続いていますが、皆さんも前日14日(土)の竹切りから始まり年末の忙しい日に製作しました。ありがとうございました。



川合まちづくりセンター

通いの場

「通いの場」では、地元の小学校や保育園との交流を大切にしています。先月は、川合保育園の子どもたちがやってきました。総勢11人のがわいこころ、「よきこころソラン」を披露してくれました。利用者さんと一緒に、肩たたきゲーム、「握手でこんにちは」を楽しんだ後、パラバルーン遊びをしました。「にし」の曲に合わせて、利用者さんが布を上下に揺らします。子どもたちの顔がほっこり。手を伸ばして、布に触ろうとする子どももいました。終わりのあいさつは、酒本勝治さん。子どもたちに目線を合わせ、一人一人に話るように話します。さすが、「通いの場」の会長さんです。

1月の予定

- ◇1月8日(水) 誕生会・ミュージックケア
- ◇1月15日(水) フルーツ演奏・折り紙
- ◇1月22日(水) 介護予防の話・歌と音楽鑑賞
- ◇1月29日(水) セラバンド・琴の演奏

【参加者募集】

通いの場では、参加者を募集しています。概ね80歳以上の方が対象ですが、75歳以上の方も相談にのります。いつまでも元気に生活するため、一緒に楽しく介護予防に取り組みませんか。参加希望の方は、川合まちづくりセンター内、担当石田富美子(電話82-5124)迄ご連絡ください。

川合地域ささえあい協議会

伝承します川合の文化財

川合町文化財めぐり⑦

山内俊雄

井上恭安先生碑

「咄(うた)山野を振う」と、島根儒林伝や川合教育百年史の岩谷九十老氏の項に書かれています。これはどういうことでしょうか。咄(うた)とは書を読む声のことです。「洪愛義塾で学ぶ塾生たちの音読は、辺り山野に響きこたますほどに盛んだった」ことを著しています。

時は元治元年(1864)年3月、川合村の篤農家岩谷九十老は自宅に塾(寺小屋)を開き、教師に通摩郡宅野村の医師で漢学者の井上恭安(拾翠ともいった)を招きました。洪愛義塾の始まりです。学ぶ者遠近より数百人といわれ、ここから男爵・金子有郷、浄土宗執綱・三星喜忠、安田第三銀行重役・原田虎太郎をはじめ、多数の逸材が輩出したのです。川合教育百年史は洪愛義塾を、「川合教育発展の基盤になった」と著しました。

時は移り明治5(1872)年10月、恭安逝く、齢73の生涯を終えました。大正の世、門人たちは恭安の功績を讃え、福城寺の境内に頌徳碑を建てました。

今、福城寺の境内、そこに石碑が。表面に井上恭安先生碑と、左右には寺小屋川合塾仁摩町宅野出身と刻まれています。また裏面には平成二十一年十二月吉日再建と刻まれています。建立に携わった佐田益三氏は「これは再建です。初めの碑は朽ちて、井上恭安の字が、かすかに残るのみでした」と話します。見るからに堅固そうな石材、「これは中国から取り寄せたものです」と振り返ります。

川合小学校の学習発表会

11月16日(土)、川合小学校で毎年2学期恒例の『学習発表会』を開催しました。統合2年になります。児童が協力して今年学んだ学習内容等から選んで、クラスの皆で考えた4月から10月までの成果を発表しました。この日は天候も良く、保護者の参観もあって我が子の発表に聞き入っていました。運動会以来、久しぶりに賑わいました。



川合小学校



先日、恭安の郷土宅野を訪ね、井上家の家主に井上家墓所へ案内していただきました。そこに建つ「井上恭安先生碑」、元、近くの波啼寺に在ったのが島根県西部地震後、ここに移されたのです。参考文献(本文記述外)

・仁摩町誌 ・島根県歴史人物事典
・岩谷九十老正傳

お悔み

11月に亡くなられた方

程原 三浦 久夫 様

謹んでお悔み申し上げます。

香典返し

程原 三浦 義司 様

1名の方より、香典返しにかえて金一封のご寄付頂きました。厚くお礼を申し上げます。ともにお知らせいたします。

(川合地区社会福祉協議会)

JA女性部川合支部

12月1日(日)、2日(月)の両日恒例のハムづくりを川合まちづくりセンターで開催しました。

両日で30名の方が参加され、皆さん手際よく作業をされていました。ここで作られるハムは大変好評でとてもおいしく楽しみにしておられる方が沢山おられました。年末に行われるハム作り、これからも続けて頂きたい事業の一つです。



子育てばんざい2024

12月8日(日)、川合まちづくりセンターにて、観学「子育てばんざい」。2024」を開催しました。今年の観学は、おむすびの会の田中正治会長、田中真由美さん、伊藤壽美さんのご指導のもと親子クッキングを開催しました。地域の方々の協力により、地元で採れた食材を使つての具だくさん味噌汁やサニーレタスのツナサラダ、ラッブおにぎりやヨーグルトケーキを作り、楽しく開催する事が出来ました。来年も楽しい会となることを期待しています。



さわやかレディース料理教室

12月5日(木)、川合まちづくりセンターでピラおだの梶本崇義士の指導により、会員が①冬の野菜の豚バラ餃子、②パンバンジー風春雨サラダ、③粒餡羊羹の3品をつくりました。年末の忙しい時期ですが、正月に向けて新しい料理を学び各家庭の食卓を賑わすことと思います。調理中は、会員も熱心に学び聞き漏らさないようにして行いました。今年、1年間の締めくくりの活動です。



さわやかレディース

冬の交通安全 交安協の呼びかけ

今月に入り、自動車も冬用タイヤに交換した方も多いと思いますが、未だに夏用タイヤの自動車も多々見受けられます。皆さん、万一事故が起これば大変なことになります。『転ばぬ先の杖』で、何時何処で降雪があるのか分かりません。急な用事で出掛けた先で大雪とか、多い少ないに問わず積雪があるかも知れません。用心をするに超したことはありませんが、タイヤ交換をするかしないかは自己判断ですが早めの対応をしましょう。

大田市交通安全協会川合支部

送る辰年を迎える巳年



川合町の皆さま方には、令和6年も

「防火」「防犯」「交通安全」等々、地域の安全安心及び各種の行事・大会等にご協力いただきありがとうございます。お陰さまで今年も川合町が、比較的平穏無事な1年間でした。今年は、コロナ禍で中止・延期になった各種事業や活動等が全面再開され活気がでました。皆さま方も、巳年の良き新年をご家族お揃いで迎え下さい。来年も宜しくお願い致します。

川合まちづくりセンター

川合町はつらつ事業実行委員会

川合町交通安全連絡協議会

大田市交通安全協会川合支部

川合町自主防災会協議会

川合町体育協会

川合町盆踊り保存会

川合町川遊び大会実行委員会

川合地区社会福祉協議会

みまもり健康ウォーク実行委員会



川合分団「火の用心」

*全国統一標語

『火を消して 不安を消して つなぐ未来』

《火の用心・その1》

川合分団の今年のビックニュースは、第66回大田市消防操法大会で7チーム中1位になり優勝したこと。皆で頑張りました。

《火の用心・その2》

◆年末警戒

12月28日(日)〜30日(火)の3日間。

分団の3班が順番に、川合町内の夜間パトロールを行います。皆さん火災を起さないように、年末年始の火の用心に努めて下さい。

《火の用心・その3》

◆消防出初め式

1月5日(日) 午前中に行なわれます。

式典は大田市民会館で行い、式典後に車両部隊と徒歩部隊に分かれて大田町内のパレードを行います。一斉放水は、パレード後に静岡川神田橋上流で行います。

《火の用心・その4》

火災は、全ての物を焼き尽くしてしまふこともあり、時には尊い命を奪うこともありまふので決して侮ってはいけません。年末年始は、とくに火災の発生が多い時期ですので火の取扱いは十分注意して下さい。

◆辰年の令和6年から、巳年の令和7年へと移り変わります。今年1年間、防火に努めていただきありがとうございます。ご家族お揃いで、巳年の良き令和7年をお迎え下さい。

大田市消防団川合分団

川合町消防後援会

投稿欄

『あっちこちいい隊 II』

あっちこちいい隊 II その189

『散歩の1』

◆私が選ぶ川合町今年のニュース◆

(その1) 4月川合小学校入学式、児童は男子1名と女子1名の2名でした。今の4年生も同じです。ここまで、極端に減少するとは想像もつかなかったことです。また、今の5年生と6年生が卒業すると2年で現児童の半分の30名が減ります。残念な年、あとは細々の状態となります。

(その2) 5月の『大田市消防訓練大会』で川合分団が見事優勝しました。これまでは何らかという、入賞を狙うも順番で参加して訓練するという姿勢でした。今年は、若手の団員が手を挙げて進んで選手になり大会に挑戦しました。嫌々やるのと、進んでやるとでは大違いです。今年若手が頑張り、川合分団も階段を一つ上がりました。消防団の活動は団体の活動です。

(その3) 松江市鹿島町の島根原発の事故を想定した『島根県防災訓練』に、川合町自主防災会協議会が参加して『非常食』としてトン汁を350食つくりました。県知事・松江市長・大田市長がスタッフに美味しかったことと活動に対する労いの言葉をかけられてスタッフも喜びました。

万が一、原発事故が発生したときには大田市が松江市鹿島町を受け入れる自治体になっています。

『散歩の2』

投稿も、189号で今年の締めとなりました。如何にかこうにか、1年間12回投稿しました。皆さま、巳年の良き新年をお迎え下さい。記事を採って「あっちこちいい隊」

雑記帳

後10日余り

【朝・昼・夜1】

今年も、喪中につき年末年始の御挨拶は御遠慮申し上げます。『今後は年賀状を終えます』と。

【朝・昼・夜2 振り返り】

1月 元日『令和6年能登半島地震』2日『羽田空港の日航機と海保機の衝突事故』多数焼失の建物火災発生等々、前途多難な辰年スタート。2月 ギャップ 『弘法も筆の誤り』 『灯台下暮らし』と、若い人に聞いても「それ何だかな」世代のギャップを感じました。

3月 山陰自動車道の「大田中央・三瓶山IC」から「仁摩・石見銀山IC」間が開通。

4月 入学式 入社式 新卒者の進学と就職。

5月 大田市消防団川合分団が、『大田市消防訓練大会』で見事優勝しました。

6月 『3人寄れば文殊の知恵』と言いますか、今は「3人寄れば猿轡」話です。

7月 5年生児童の『地域安全マップ』づくり。

8月 『第30回かわいの川遊び大会』

9月 『川合町敬老会』『川合町体育大会』

10月 5年生児童と地域の『非常食づくり』

11月 『第41回川合町文化祭』原発事故想定『島根県防災訓練』で川合町自主防災会協議会が『非常食』でトン汁を350食つくりました

『川合小学校学習発表会』

12月 『門松』と『飾り風』づくり、『川合まちづくりセンター大掃除12月21日(土)』『かわいみまもりたい年末年始特別Pと児童園児の1日青パト隊長任命式』『川合分団年末特別警戒』『皆さんの家庭の大掃除』で大晦日です。

◆1〜12月、各団体の事業活動実施あり。